

ウクライナに平和を

ロシアは侵略やめよ
国際人道法まもれ



プーチンの侵略許さない 国際世論で包囲しよう

ロシアのウクライナ侵略は武力行使の禁止などを義務付けた国連憲章違反、原発や病院への攻撃は国際人道法にそむく犯罪。核の先制使用で世界をおどすなど核兵器禁止条約にも違反しています。

無法をとめるのは世界と市民社会の声でプーチン政権を包囲していくことです。あなたの地域から「侵略やめよ」の声を発信してください。

日本共産党

ウクライナ支援募金へのご協力を

お預かりした募金は全額を国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、国連児童基金 (ユニセフ) に届け、ウクライナの人々の支援にあてます。

郵便
振替

▶口座番号 00170-7-98422
▶加入者名 日本共産党中央委員会
※通信欄に「ウクライナ募金」と明記してください。

旧ソ連・ロシア どう考える？

旧ソ連の時代からロシアの覇権主義を厳しく批判してきたのが **日本共産党** です。

どんな国の
覇権主義も
許さない

旧ソ連もロシアも 社会主義とは無縁

旧ソ連がおこなったチェコスロバキアへの侵略 (1968年)、アフガニスタンへの侵略 (1979年) などにたいし、社会主義とは縁もゆかりもない覇権主義だと、断固反対をつらぬいた自主独立の党が日本共産党です。

ソ連崩壊を 「もろ手をあげて歓迎」

1991年にソ連共産党が解体したとき、「覇権主義の巨悪の党がなくなったことに、もろ手をあげて歓迎します」と声明をだしました。ソ連共産党を名乗る党がなくなって31年。いまのロシアの政権は「共産党」とも「共産主義」ともまったく無関係です。

全千島の返還を主張

テレビ東京BIZ、3月11日

ロシアに「強硬な姿勢をしめす政党」

北千島・南千島の全千島列島と歯舞・色丹島を、第2次大戦後、旧ソ連は「領土不拡大」という国際約束を破り不当に占拠しました。

この行動を日本共産党は批判。

全千島は日本の歴史的な領土で、全面返還すべき、歯舞・色丹は北海道の一部ですぐに返還をと主張しています。

自公政権

返還は「歯舞、色丹だけ」に後退

国際社会がロシアへの経済制裁を強める一方、岸田自公政権は、今年度は21億円の「経済協力」。全千島列島を放棄し、プーチン大統領に「ウラジーミル、君と僕は同じ未来を見ている」(安倍元首相) などというペコペコ外交は破たんしています。転換が必要です。

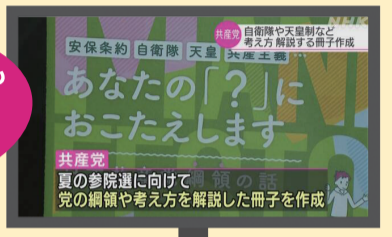
「わかりやすい」と評判のリーフ



- 安保条約** なくしてこそ平和なアジアに
- 自衛隊** 海外の戦争で血を流させない
- 天皇の制度** 現在も将来も「憲法」にもとづいて
- 共産主義** 人間の自由が花ひらく未来へ

日本経済新聞論説フェロー
芹川洋一さんも紹介

NHKニュースでも紹介されました
2月20日放映



あなたもぜひお読みください

お近くの党事務所
または右記へ



LINE公式



公式サイト



@jcp_cc



@kyosanto

敵基地攻撃 核共有 9条無力 …

「力には力」が一番危ない 日本共産党を伸ばして 危険な動きにストップを



ウクライナの危機に乗じて「敵基地攻撃能力を」「いまこそ憲法改定」など自公政権のもと、軍事一辺倒の動きが起こっています。「力には力」「軍事対軍事」では悪循環、一番あぶない道です。反戦平和の日本共産党を伸ばして危険な道をとめましょう。

憲法9条いかした外交戦略で

相手が「軍事、核兵器、力の論理」できた場合、こちらも「軍事、核兵器、力の論理」で対抗すれば軍事対軍事の悪循環になり、戦争につながる危険に…。こんなことにならないようにするため、憲法9条を生かした外交が大事です。

話し合いで解決する 仕組みを北東アジアに

ASEANとも協力して東アジアサミットを活用・強化し、紛争を戦争にしない、あらゆる問題を平和的な話し合いで解決していくための外交戦略を日本共産党は提案しています。



「核兵器で戦争をとめられる」は幻想 核廃絶の先頭に

核兵器の先制使用もいとわぬ核大国の指導者が出てきました。「核抑止」は無効です。危険から逃れるのは核兵器廃絶です。日本共産党は日本政府へ核兵器禁止条約に参加することを求め、全世界にも条約参加を呼びかけています。

ロシア侵略を
利用して… “核兵器を持つ”

維新の会
安倍元首相

アメリカの核兵器を日本に持ち込み共有を——維新の会や安倍元首相が言い出しました。「核には核を」というプーチンと同じ立場ではありませんか。

しんぶん 赤旗

お申し込みはお近くの党事務所
または党員が下記の住所まで
日本共産党中央委員会
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL.03-3403-6111(代表)

日刊●3,497円 日曜版●930円 ●日刊は電子版もあります。

購読申込書
おなまえ
電話 ()

おところ 〒

○をつけてください。日刊●3,497円 日刊(電子版)●3,497円 日曜版●930円

日本共産党の活動はみなさんによって支えられています。募金にご協力ください。もよりの党事務所か、お知り合いの党員にご連絡いただくか、右記へお送りください。郵便振替●日本共産党中央委員会 00170-7-98422